

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

慢性腎炎の進展に関与する蛋白質の同定

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 腎臓高血圧内分泌内科 (研究責任者)阿部 雅紀

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2024年 3月 31日

<研究の目的と意義>

慢性腎炎は腎臓内の糸球体を中心に、慢性の炎症が見られる疾患の総称であり、蛋白尿や血尿、それに伴う症状が1年以上にわたって持続し放置すると末期腎不全に至ることもあります。慢性腎炎の腎機能の低下は個々の患者さんによって異なりますがそのメカニズムは分かっておらず、末期腎不全を予測する方法も確立されていません。米国ジョスリン糖尿病センターの研究グループは最近、糖尿病患者における慢性腎臓病の患者さんを対象に、血液中の蛋白質や Non-coding RNA と呼ばれる核酸を測定し、腎臓病の進展の原因となり得る蛋白、Non-coding RNA を同定しました。本研究ではそれらについて慢性腎炎でも腎機能の悪化に関連するかについて明らかにすることを目的とします。

<利用する試料・情報の項目>

血液、尿検査データ、血液検体、尿検体、腎生検時の腎組織検体、腎摘出後の組織検体、診療記録等

<対象となる患者さん>

西暦 2009年4月1日～西暦 2024年3月31日の期間に当院腎臓高血圧内分泌内科に入院して腎生検を行い、慢性腎炎(膜性腎症、半月体形成性腎炎、微小変化型ネフローゼ症候群、ループス腎炎、尿細管間質性腎炎、膜性増殖性糸球体腎炎、巣状糸球体硬化症、メサンギウム増殖性腎炎)の診断を受けた患者様。対照群として当院泌尿器科で腎癌に対して腎摘出術を受けた患者様。

<研究の方法>

当院腎臓高血圧内分泌内科に入院して腎生検を行い、慢性腎炎の診断を受けた患者様について当院で実施した血液検査、尿検査、画像検査、血圧値、身長、体重、尿量等の結果をカルテから解析します。また、保存させて頂いている血液検体、尿検体から蛋白質を測定し腎症進展との関連について解析致します。尚、本研究では腎組織検体を用いますが、本研究に参加することにより病理診断の結果に影響を与えることはありません。

<外部への試料・情報の提供等>

患者様の血液検査情報や健康情報を電子媒体で管理するには個人を特定できる情報(氏名、ID など)を入力せず、付与した番号を入力します。同意を頂いた上で保存させて頂いている患者様の血液検体、尿検体は研究施設内の施錠できる部屋に個人情報が入り特定できない形(付与番号)で冷凍保存されております。この血液検体、尿検体は一部を共同研究機関である米国ジョスリン糖尿病センターに郵送し、蛋白質やNon-coding RNAを測定致します。以上のデータを用いて解析を行った研究成果は学会や学術論文で発表させて頂く可能性がありますが、その際にも個人を特定できないような形で行います。

尚、本研究で測定した蛋白質量や Non-coding RNA の結果については現在研究段階のため個別にお答えすることができません。

<研究組織>

日本大学医学部腎臓高血圧内分泌内科 部長 阿部雅紀

米国ジョスリン糖尿病センター 遺伝疫学部門 部長 Andrzej S. Krolewski

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

腎臓高血圧内分泌内科 氏名:阿部 雅紀

電話:03-3972-8111 内線:(医局)8944 (PHS)8046